



こうごしま 議会だより

No. 161

平成 26 年 8 月 29 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992(8)0011
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp



神津島 2014 夏の思い出

(左 : 打上げ花火と飛鳥Ⅱ 右 : 宵宮での金魚すくい)

目 次

- ◇ 平成 26 年第 2 回定例会 (6 月 10 日から 29 日までの会期) 2
議員講演会報告、議員自主研修報告、条例 1 件、規約 1 件、補正予算 1 件、
農業委員の推薦
- ◇ 平成 26 年第 2 回臨時会 (5 月 20 日) 3
専決処分 1 件、契約 2 件
- ◇ 一般質問 3
1 名の議員が一般質問
- ◇ その他 3
議会コラム、議会日誌、編集後記

平成26年第2回定例村議会

議員講演会・自主研修報告

5番 石野田富士雄

議員自主研修

今回の視察研修は介護をテーマとし徳之島町へ行ってまいりました。

徳之島は鹿児島市の南南西46.8kmにあり奄美諸島のほぼ中央に位置しております。徳之島は伊仙町、徳之島町、天城町からなり平成20年度に厚生労働省が発表した合計特殊出生率が全国の1位から3位までに入る子宝の島としても知られています。

徳之島町庁舎内で徳之島の概要とヒアリングの回答を受けた後、老人保健施設サザンコートに向きました。宮上病院と併設になっており、外来、病棟、デイケア、PT4人OT2人とリハビリの支援が充実して自宅復帰の推進ができております。介護職員は利用者29名に対し看護師3.5名、介護員14.5名で対応しております。老健は自宅復帰を考えた施設で、当然リハビリで自立度があり、3ヶ月の復帰率は42%となっておりますと介護支援専門員の「一」さんから報告をうけました。

特養ホームの徳寿園、南風園は中村議員が神津島やすらぎの

里の理事長でもありますので、報告をお願いします。

7番 中村親夫

特別養護老人ホームについては事前に質問を提出してありました。

看護師、介護員、ケアマネ等の人員確保について

介護業界自体が人員不足であるという背景の中、我が神津島で島内からの人員確保は非常に厳しい状況であり、常に島外に人材を求めている状態であり、島外からの採用にしても応募状況は芳しくない状況である。徳之島の現状をお聞かせいただきたい。

徳寿園からの回答

長期入所80床、シヨートステイ9床、現在職員数は65名、施設長1名、相談員1名、介護支援専門員3名、看護師5名、介護員39名、管理栄養士1名、調理士3名、調理補助6名、事務員4名、夜間警備員2名。

職員基準数を上回っているが、利用者様に十分なサービス提供を行うには介護職員の補充が必要と考えている。

募集に毎回数名の応募があるために、人員確保がまだ厳しい状況ではないが、人材確保については難しい。介護職員には日本国籍のフリーピンの女性が3名おります。看護師にはご家庭

で徳之島にIターンで在住している女性が勤務しています。徳之島出身でない職員が現在9名勤務していて皆さんとても勤務状態も性格も素晴らしいです。

南風園からの回答

求人を出しても応募が少ないのが現状です。応募がないというより生産年齢人口が少なく働き手がいないのが現状ではないかと思っております。特に有資格者が退職した時は本当に困ります。退職を見越して職員を抱えるわけにもいかず、退職後の職員探しには頭を痛めています。

法人内で育成できる職種（介護福祉士、介護支援専門員）については育成の方向で対応しています。

南風園の施設規模（シヨートステイ含め39床）は、やすらぎの里の特養と同程度の規模であり、同じような悩みをかかえていました。

経営状況について、神津島の特養は小規模施設なのでスケールメリットは生かせず、経営は厳しい状況であり人件費比率は73%である。徳寿園の人件費比率は60%、南風園は64%でした。

今回の自主研修で得たことを参考にして今後のやすらぎの里の経営に活かしていければと思っております。

午後からは、野菜冷風乾燥施設の美農里館、水耕栽培の植物工場を視察し、帰路につきましました。

徳之島においては、今までにないおもてなしを頂き、丁寧な

説明と細やかな対応とただただ、頭が下がるばかりでした。一同充実した研修ができたことを感謝するばかりです。今後我が神津島でこのような充実した介護施設ができるかどうかかわかりませんが、素晴らしい研修であったと報告します。

議員講演会

「道州制の導入が地方にもたらすもの」(町村議会議員講演会)

自主研修後、東京に戻り、東京都町村議会議員研修会に参加、講師に小林良章先生、演題は「道州制の導入がもたらすもの」でした。

北海道のように、道として日本を9若しくは11、13道州をつくり、広域な地方公共団体とし、基本理念は、東京一極集中を避け、是正し、多様で活力ある地方経済圏を創出し得るようになる。

都道府県を廃止し、全国の区分に分けて道州を設置し、都については道州制国民会議で総合的に検討する。

道州制のもたらすもの、プラス面とマイナス面を説明してくださいました。

また、地方議会の役割、権限、地方議会が住民代表としての機能するための方策等、地方自治法の不備な面も話され、今後の世界経済が、シエールガスのエネルギーを中心としたアメリカの一人勝ちになることを予想されていきました。大変興味深い内容で勉強になりました。

以上研修報告とさせていただきます。

条例1件

◎議案第26号「神津島村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例」

福祉課長(清水一正君) 神津島村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正するもので、主に表示の修正をするもの。

《原案可決》

規約1件

◎議案第27号「東京都と神津島村との間における旅券の申請受理及び交付等に係る事務委託に関する規約の変更について」

福祉課長 旅券法の一部を改正する法律の施行に伴い、旅券の申請受理及び交付等に係る事務の委託を変更し、これに伴い規約の一部を変更するもの。

《原案可決》

補正予算1件

◎議案第28号「平成26年度東京都神津島村一般会計補正予算(第1号)」

企画財政課長(前田弘君) 歳入歳出それぞれ4千6百35万9千円を追加するもの。
4番(山岸義光君) 臨時福祉給付金について説明を。
福祉課長 住民税の非課税者

1人につき1万円(年金や児童扶養手当等の受給者は5千円(加算あり))を支給するもの。ただし、課税者の扶養家族や生活保護受給者等は除く。

4番 対象者に文書等で案内があるのか。

福祉課長 案内文の全戸配布や、CATVでの放映等に対応したい。

9番(松江孝雄君) 子育て世帯臨時特例交付金についても説明を。

福祉課長 今年の1月分の児童手当の受給者に対して1万円を支給するもの。ただし、児童手当の所得制限限度額以上の方や生活保護受給者等は除く。

◎「神津島村農業委員会委員の推薦について」

村議会からの推薦委員2名を、4番 山岸義光君、9番 松江孝雄君と決定する。

一般質問

7番 中村親夫議員

◎村長就任後の主産業(農業、漁業、観光)の動向について

7番 農業については、平成17年度主要品目のアシタバ、レザーフアン等の生産高合計が1億4,200万円あったが、平成24年度で4,900万円と急激に落ち込んでいる。漁業については、キンメダイ漁が堅調で水揚げ高状況は平成19年から24年まで8億円前後をキープしている。観光について、来島客

は平成23年は東日本大震災の影響で3万5,617人と落ち込んだが、平成19年から24年は4万人前後をキープしている。これら農業、漁業、観光の動向について村長の総括的な所見を伺う。

村長(石野田富弘君) 農業分野での総括的な所見は、先ず第1に平成22年度から農業指導員を誘致した。2点目は、平成23年度から農協に対し委託職員を派遣し、農協の基盤強化を図った。3点目として、雇用対策事業による農家支援、アシタバ生産者団体の草取り、レザーフアン生産者に対するハウスの補修を実施した。4点目が、アシタバ、レザーフアン、パッションフルーツ部会への支援。5番目が、生産者に対する肥料の助成を実施した。私なりに努力したと思っているが、結果が伴わない状況に終わったと言わざるを得ない。

漁業分野については財政力の脆弱な漁協を支援することによって漁業者の士気を高め、若手の育成につなげていく狙いがあり、そのことも行政の果たす役割と考えている。行政の長や漁協のトップが変わっても連絡調整を密にすることが大事であると思っている。漁業の水揚げは本年も今のところ好調で、昨年を上回る実績となっている。観光の分野については、東日本大震災の影響を受けて一時4万人を割っていた入り込み客も平成25年にはようやく4万人を上

回ってきた。村の観光戦略の目指す施策を一つずつ実現化しながら、さらに多くの観光客を誘致するため、イベントの充実、天上山登山のためのトイレ等の環境整備、百観音霊場の具体的な取り組み等を展開していくことが大事なことだと思っている。

◎石野田村政の事業実績について

7番 村長の事業実績について総括的な所見を伺う。

村長 ハード事業では図書館建築事業、今年度予定の天上山のトイレ整備、ソフト事業では身障者医療サービス事業、環境美化緑化対策、お年寄り文集の製本化、野鳥図鑑の発行、雇用対策事業の取り組みが心に残っている。また、長年の懸案であった計器飛行化や神津島港西防波堤、村道の都道編入の足掛かりがつけられたことは私にとつて大変うれしいことの一つである。また、村からやすらぎの里へ委託している生活支援ハウス事業については、事業形態を改良してご利用者に介護が必要になっても24時間介護サービスが受けられるように特養ホームに準じた施設にした。現在は入居者が12名で、特養ホーム待機者が大幅に軽減されたということであるが、これは私が提案したということではなくて、やすらぎの里側の意向等もあり、そうした中で協議した結果であると認識している。

第2回臨時会



議会コラム

9番 松江孝雄議員

平成26年6月20日付の毎日新聞の記事の、日本創世会議分科会の報告書によると、子供を産む人の大多数を占める「20〜39歳の女性人口」は、2010年からの30年間で、5割以上減る市区町村の数を、全国1,800市区町村の49.8%にあたる896の自治体と推計した。大都市への流出人口が出生率を上回って人が減り続け、有効な手を打たなければ、医療、介護保険の維持など、自治が困難になりかねない「消滅可能都市」と位置付けている。

人口の減少は、全国的に見て農業が盛んな県から、人口が減る傾向にあるという。就労の場を求めて地方から都市へ移住する若者が増え、地方の人口減少という大きな流れは、自治体だけではどうにもならない状況と言える。地方に雇用場が必要であり、良い例として秋田県大潟村は40年間かけて、若い女性が15%増えている、同村は農業の大規模化と株式会社化で、事務職を含めた雇用の場を確保して、後継者が地元に残り、若者が所帯を持ち子供を産むことにつながっている。

の安定と利用者へのサービス向上を目的に、工事を実施するもの。《原案可決》

- ◎承認第3号「専決処分承認を求めることについて」
- 企画財政課長 地方税法の改正に伴い神津島村税条例の一部を改正するもの。主に法人税割税率の改正、軽自動車税の税率の見直し、自動車税におけるグリーン化特例、耐震改修済みの建築物に対する固定資産税の減額等。
- 1番(松本裕一君) 軽自動車税の税率の件、なるべく早く村民に周知して欲しい。
- 企画財政課長 告示やテレビを使って、前もって理解を得られるように周知していく。
- 《原案承認》
- ◎議案第24号「開発総合センター保全改修工事請負契約」
- 総務課長(中村勝二君) 開発総合センターの老朽化に伴い、施設の改修を行うもの。
- 《原案可決》
- ◎議案第25号「5号井新規掘削工事請負契約」
- 産業観光課長(清水 豊君) 新規井戸の整備により湯温、湯量の安定確保を図り、施設運営

議会コラム

8番 石田高道議員

今年に入り海に異変が・・・

二月から三月にかけて、日本海・東京湾内の定置網に深海に生息するダイオウイカ等が捕獲され、海水温の変化によるものなのか、地球温暖化の影響なのか、テレビ報道されていました。
神津島周辺の海域にも海水温の変化があるのか、今年の赤イカ漁・海藻類は水温が低く、昨年比に比べ不漁であるとの事です。
早く潮が良くなり、大漁になることを祈っています。

さて、七月から九月にかけて操業されるタカバ漁は、明治の時代から行われている建切り網漁（巾着漁）が時代の流れか、現在はタカバ刺し網漁に変わり水揚げされています。

八月一日に行われる例大祭に頂く、夏の魚の王様・タカバの背越し、煮付け、秋に行われる敬老会に出席された皆様も「やっぱりタカバはうんまいな」と喜んで食べていました。

三協網組の皆様には心より感謝申し上げます。
神津島のブランド魚であるタカバ漁がこれからも続けていけるよう願っているのは私だけですが、多くの村民も期待していると思います。総執り帰港する船団から、大量にタカバが揚がると市場も賑わい島全体に活気が出ます。

神津島は、まさに漁業の島であると私は思っています。

25年度の漁協の水揚げ高は8億2千3百万円とここ数年、8億台の水揚げとなっております。これは組合員の皆様の操業努力によるものだと思います。今年も組合員の皆様の操業の安全と大漁を祈念しています。

議会からのお知らせ

6月30日付で石田隆美智議員より辞表が提出され、受理されております。

議事日程

Table with 2 columns: Date (平成26年) and Event. Includes items like '平成26年第1回定例会(31日閉会)', '小中学校卒業式', '都庁訪問(建設局)', '小学校教育実務委員会', '阿波命神社例大祭', '議事録署名', '東京都町村議会議員見交換会', '東京都町村議会議員講演会', '果船祭(副議長対応)', '第45回ジュリア祭', '平成26年第2回臨時会', '大島支庁管内事業説明会', '都庁訪問(港湾局・産業労働局)', '都庁訪問(建設局)', '第39回町村議会議員研修会', '平成26年度港湾関係要望活動', '平成26年第2回定例会議会運営委員会'.

編集後記

6月の定例村議会も10日に終わり、7月に入りました。観光シーズンも間近です。天候に恵まれ多くの来島客が訪れるように祈っております。

さて、去る5月には、第45回ジュリア祭が執行され、北は北海道小樽市から、西は長崎市までの173名の参加者がありました。参加された多くの皆様、島の「もてなし」に満足し、大変喜び、感謝の言葉が多く聞かれました。

昭和45年に第1回ジュリア祭が行われ、当時は観光協会はじめて多くの団体の協力と、村の職員が大きな力をおこしました。特に集客については、各カトリック教会の神父様と、熱心な信者のご尽力のおかげであったと思いますが、今回は173名の参加者がありましたが、集客には大変苦労しているのではと思っております。

ジュリア祭は神津島で歴史のある行事であります。今年のジュリア祭では日韓親善芸能大会で、神津高校の男子生徒が「かつお釣り」女子生徒が踊り「大漁節」を披露してくれました。場内から大変な拍手がありました。

芸能も文化であり、高校生の皆さんがジュリア祭により、地域の文化を体験することができ、更に韓国学校の生徒達と交流ができることは、素晴らしいことだと思います。今後もジュリア祭を継続することにより、高校生には続けて参加していただき、韓国学校の生徒達と友好関係を築いて戴きたいと思っております。この議会だよりが配布になる頃には夏期観光も終盤のことと思いますが、昨年を上回る来島客であるよう願っております。

「議会だより」編集委員会一同

- 委員長 松江孝雄
副委員長 松本裕一
委員 清水勝彦
委員 石田高道